

令和6年度
千葉大学大学院教育学研究科
一般選抜学力検査問題

学校教育学専攻
教育発達支援系
学校心理問題群

選 択 科 目	
共通問題	1 ページ～2 ページ
選択問題 1	3 ページ

【注 意 事 項】

1. 「解答始め」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は、表紙を除いて3ページです。選択科目が印刷されています。
3. 試験時間は、10:00～12:00です。
4. 解答用紙は共通問題、選択問題が別になっています。解答用紙は4枚です。それぞれの所定欄に受験番号を必ず記入すること。記入漏れの解答用紙は採点できないことがあります。
5. 共通問題は、受験生すべてが解答すること。
6. 選択問題は、8問出題されています。そのうちの4問を選び解答してください。
7. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は、持ち帰ることができます。

学校教育学専攻 教育発達支援系 学校心理問題群

選択科目 共通問題

問題1 「小学校中学年児童が授業に主体的に参加しているか」について調べることにした。あるクラスの授業場面を対象として、観察法を用いて検討したい。具体的な研究計画を立てなさい。(60点)

学校教育学専攻 教育発達支援系 学校心理問題群

選択科目 共通問題

問題2 以下の英文を日本語に訳しなさい。日本語に訳するにあたっては Figure 1 も参考にすること。(60点)

著作権保護の観点から、公表していません。

出典 : Peter Gray ed. *Psychology 5th edition*. Duffield, U.K. Worth publisher p.329

学校教育学専攻 教育発達支援系 学校心理問題群

選択科目 選択問題

問題1 以下の8つの用語のなかから4つを選び、それぞれを説明しなさい。
解答に際しては選択した用語の①～⑧の番号を解答欄に記入しなさい。なお、選択する
順序は問題用紙に記されたとおりでなくてもかまいません。(80点)

- ① 心の理論(theory of mind)
- ② 学習性無力感(learned helplessness)
- ③ 作業記憶(working memory)
- ④ 適性処遇交互作用(aptitude treatment interaction)
- ⑤ ホスピタリズム(hospitalism)
- ⑥ 帰属理論(attribution theory)
- ⑦ 防衛機制(defense mechanism)
- ⑧ 傍観者効果(bystander effect)

教育発達支援系学校心理問題群

選択科目合計得点

選択科目
共通問題

受験番号	E1M -
------	-------

共通問題 合計得点	
--------------	--

問題 1

得 点	
-----	--

教育発達支援系学校心理問題群

選択科目
共通問題

受験番号	E1M -
------	-------

問題 2

得点	
----	--

教育発達支援系学校心理問題群

選択科目
選択問題

受験番号	E1M-
------	------

選択問題 合計得点	
--------------	--

問題 1

1 枚目（解答欄は2枚にわたっているが必ず1枚目から記入すること）

選択した用語 の番号を記入	
------------------	--

得 点	
-----	--

選択した用語 の番号を記入	
------------------	--

得 点	
-----	--

選択した用語 の番号を記入	
------------------	--

得 点	
-----	--

（次のページに続く）

教育発達支援系学校心理問題群

選択科目
選択問題

受験番号	E1M-
------	------

問題1

2枚目（必ず1枚目から記入すること）

選択した用語 の番号を記入	
------------------	--

得点	
----	--
